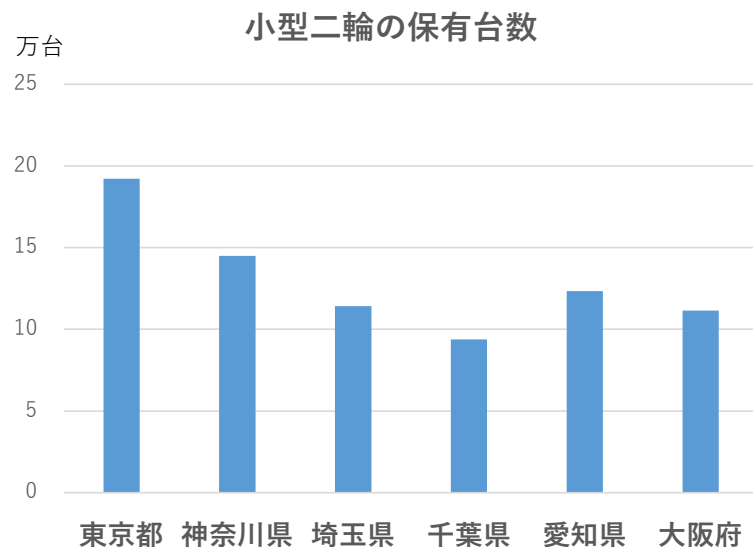




県内の二輪車の移動傾向等

小型モビリティの状況

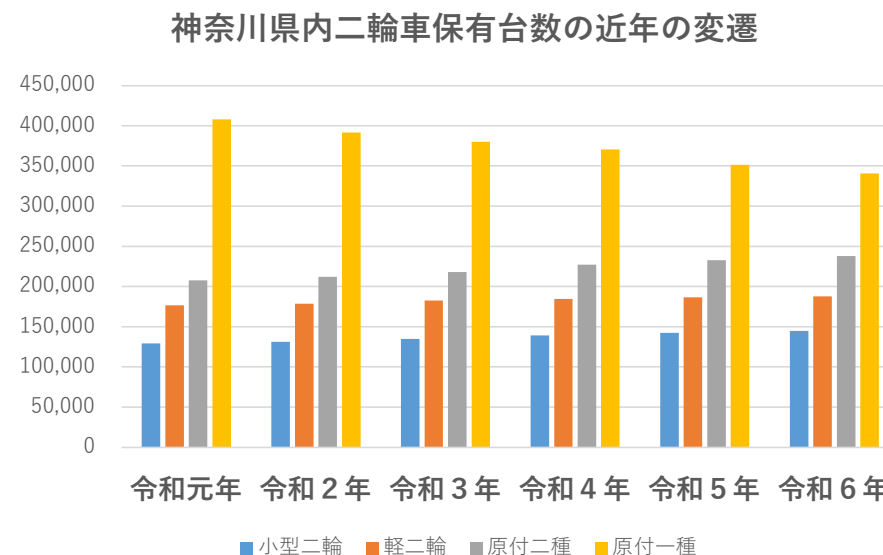
# 二輪車の保有状況



出典:各都府県交通資料

小型二輪車の保有台数は、東京都に次いで全国で2番目に多い。

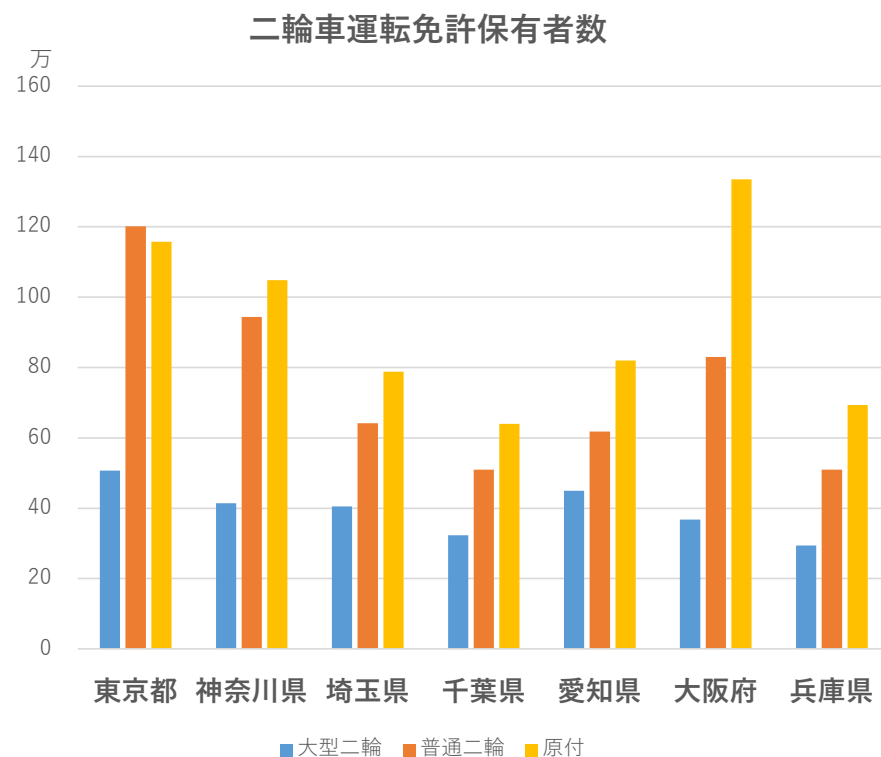
※小型二輪車（250CCを超えるもの）



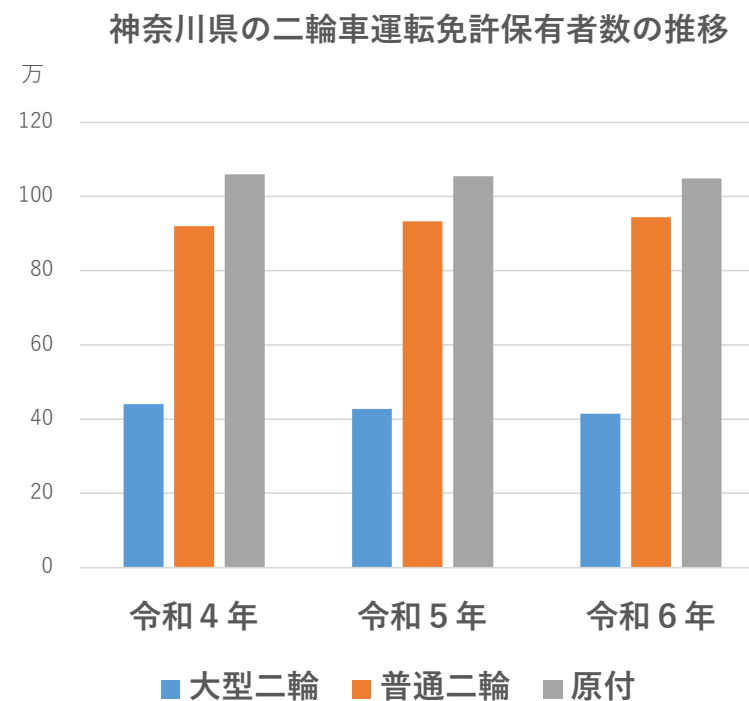
出典:交通年鑑

自動二輪の保有台数は、年々増加している。  
原付一種の保有台数は、年々減少している。

# 二輪車運転免許保有状況



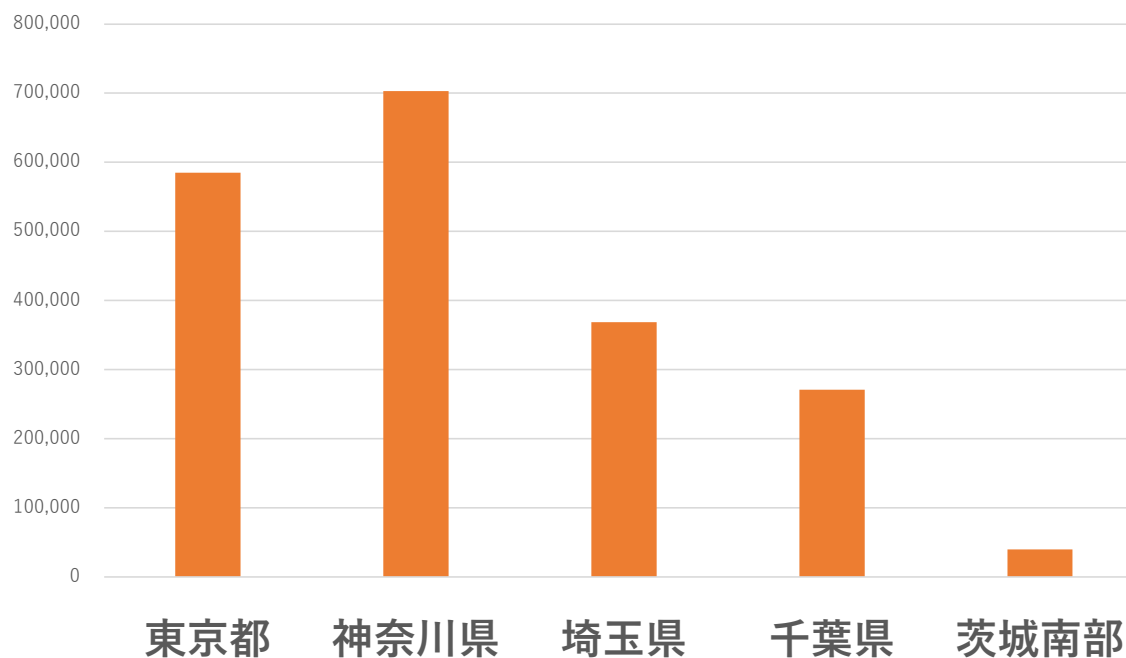
普通二輪の運転免許保有者数は、東京都に次いで2番目、原付を含めた二輪車の運転免許保有者数は全国で3番目に多い



出典: 各都府県交通資料

## 二輪車でのトリップ数の比較(パーソントリップ調査より)

図1.発生集中量(二輪車)



出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査（グラフ作成神奈川県）

**神奈川県は、関東の他県と比較すると二輪車で移動した人が多い。**

## 移動時の交通手段(パーソントリップ調査より)

図3. 移動時の交通手段(全目的)

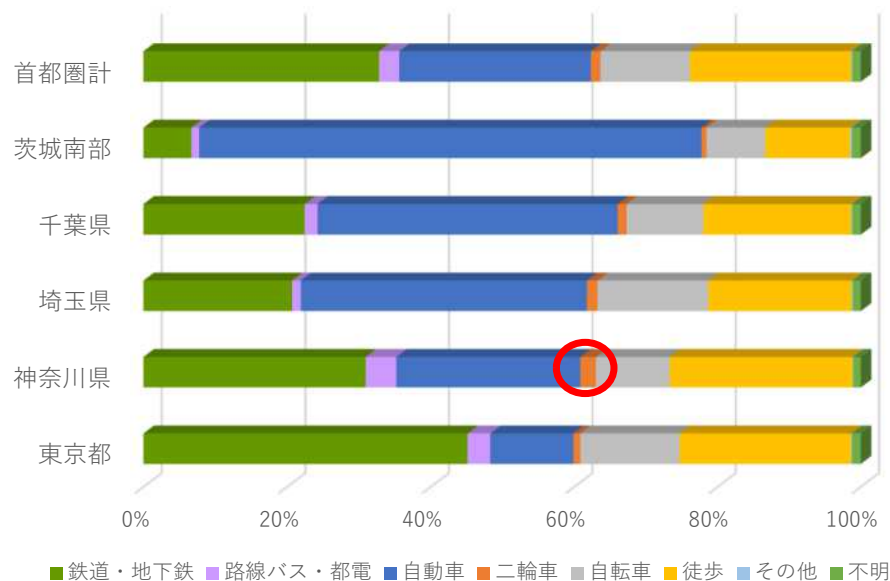
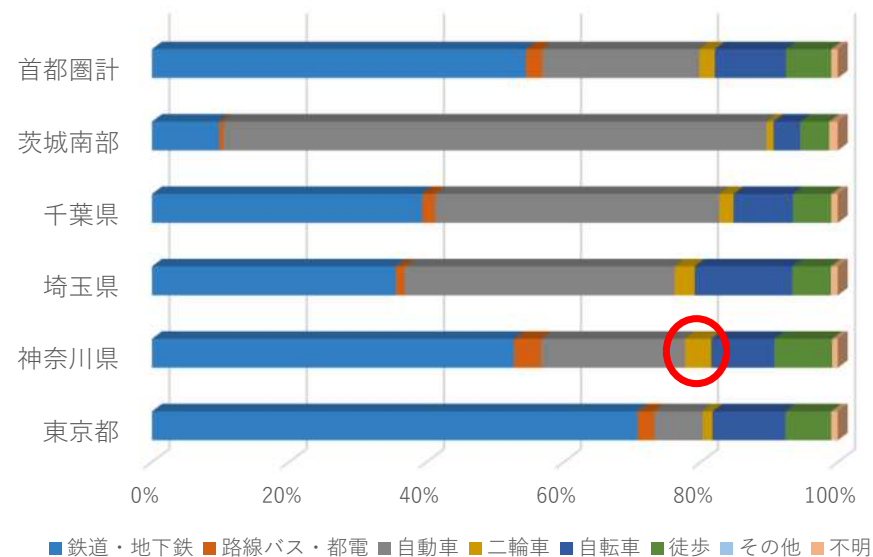


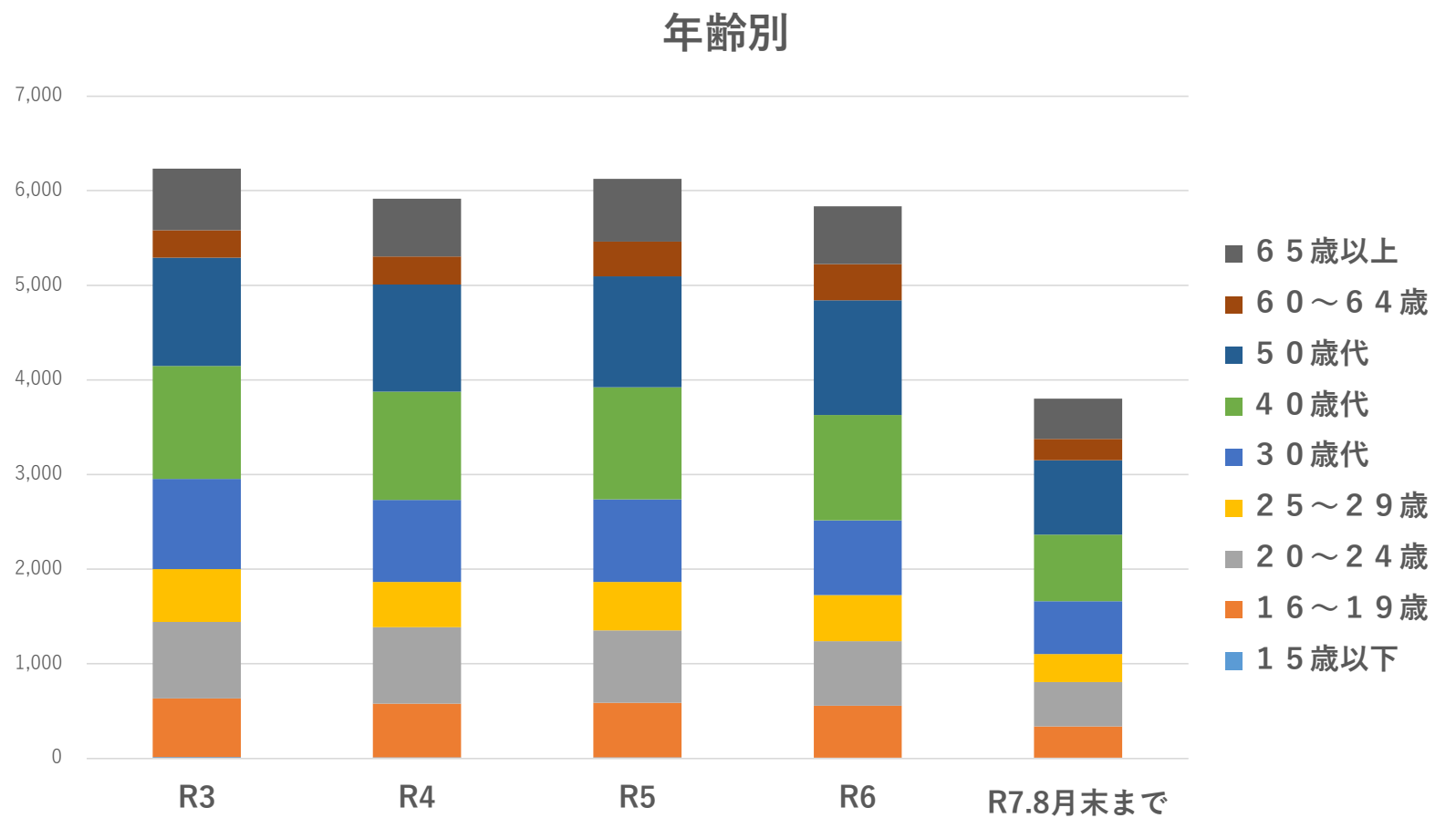
図4. 移動時の交通手段(通勤)



出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査（グラフ作成神奈川県）

**神奈川県は、関東の他県と比較すると移動に二輪車を選ぶ割合が多く、特に通勤でその傾向が顕著**

# 二輪車事故の発生状況 ①

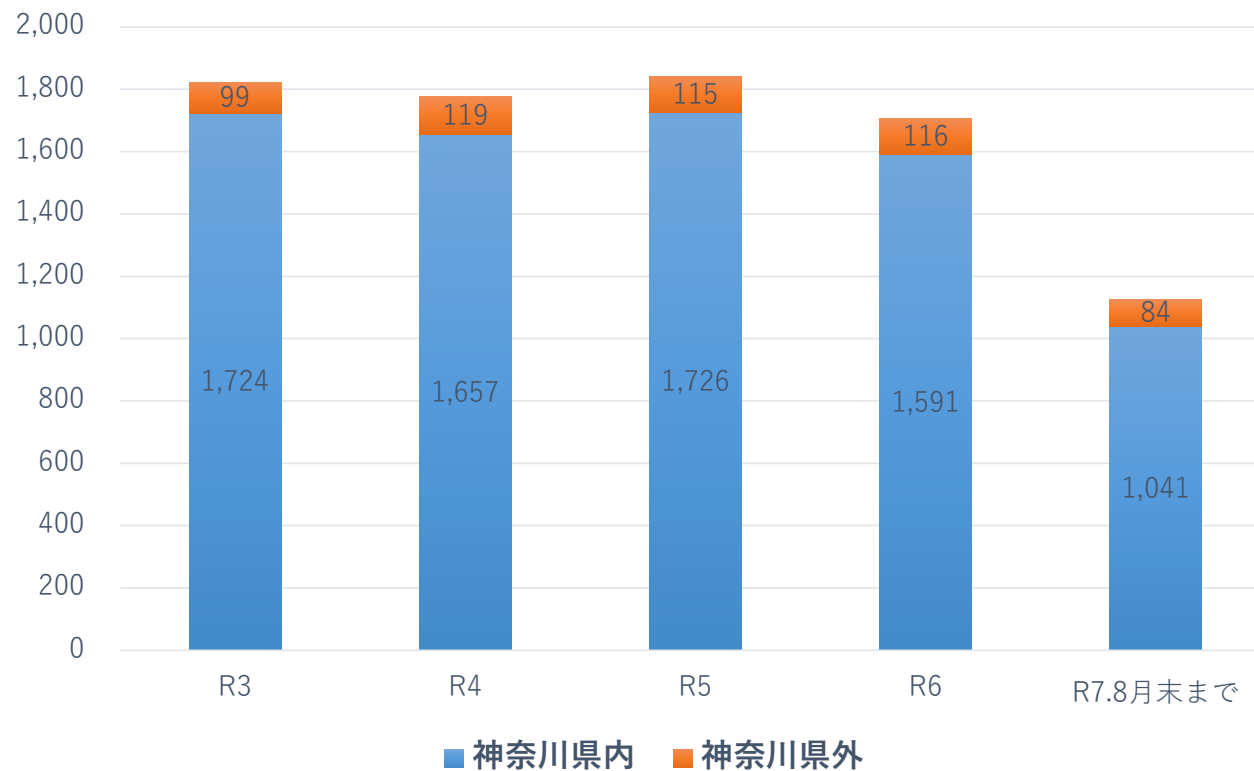


神奈川県警資料より

年齢別では、40歳代と50歳代が全体の約4割を占めている。

## 二輪車事故の発生状況 ②

第1 当事者居住地別

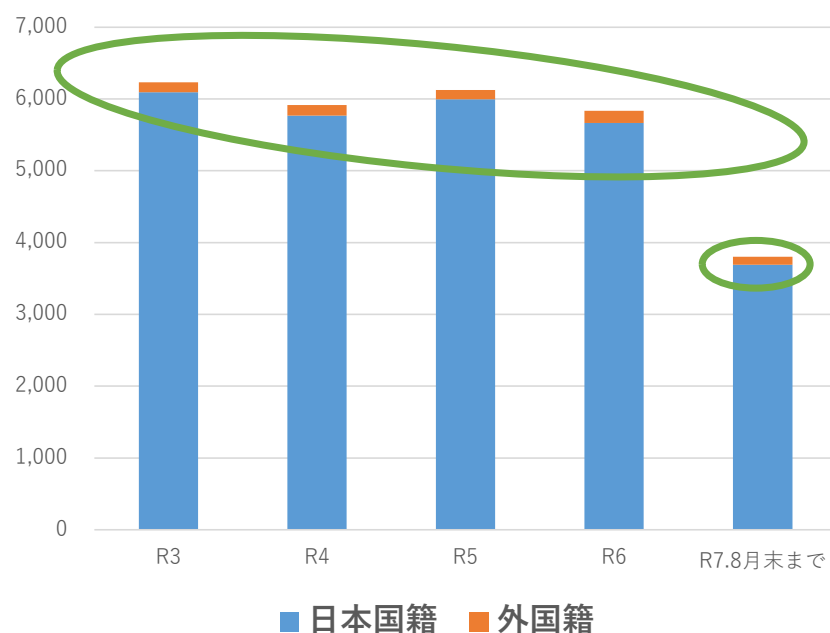


神奈川県警資料より

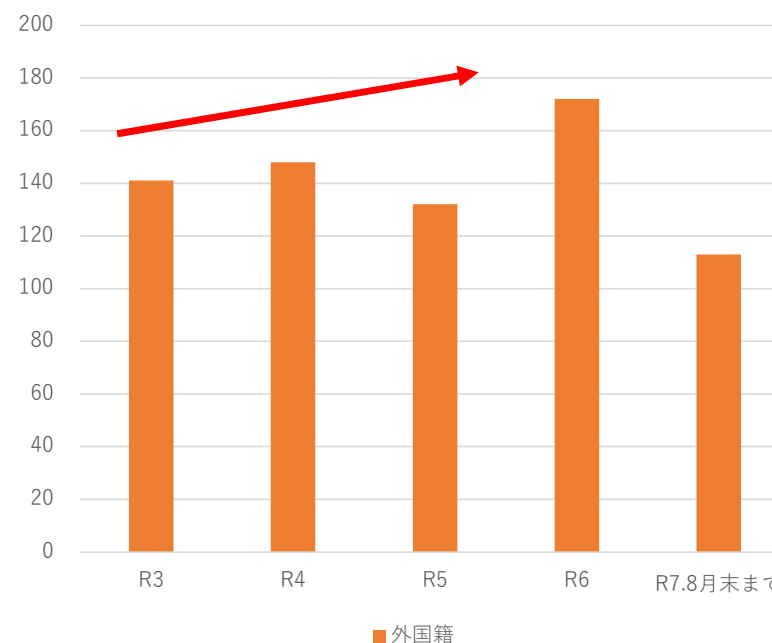
県外者が起こした二輪車事故は、全体の1割程度である。

# 外国人の二輪車事故

## 国籍別



## 二輪車事故を起こした外国人数



神奈川県警資料より

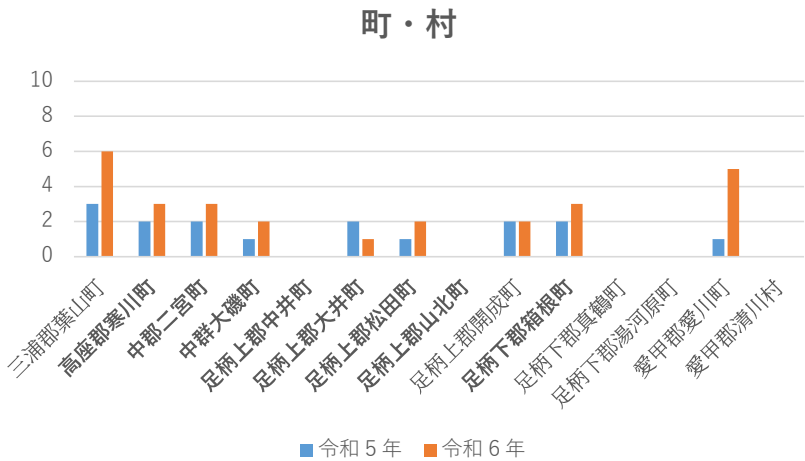
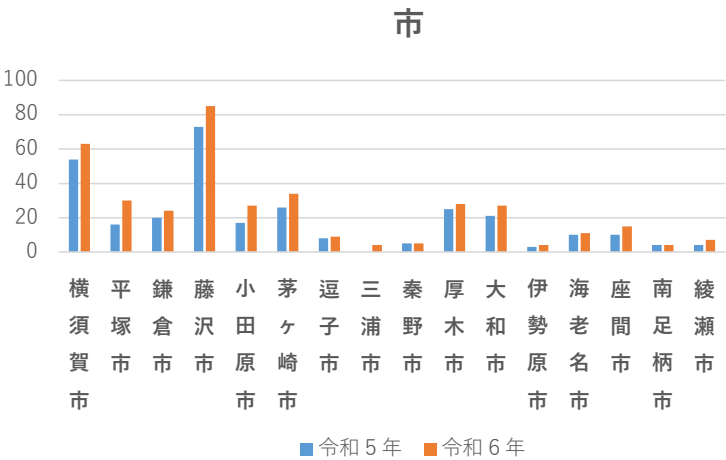
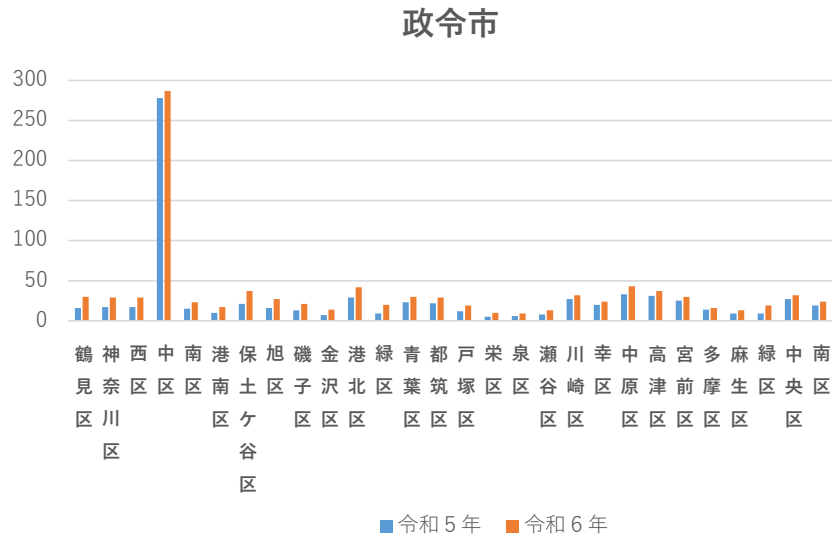
外国人が起こした二輪車事故の発生件数は少ないものの、ここ数年は増加傾向にある。



## 二輪車による交通事故が多いと考えられる要因

- ① 県内のバイク保有台数は東京都に次いで2番目に多い
- ② 移動（特に通勤）に二輪車を使う人が多い

# 特定小型原動機付自転車の市区町村別登録台数



## 県内の登録台数

令和5年1,050台  
令和6年1,360台  
(310台増加)

## 登録台数順位

- |   |       |      |
|---|-------|------|
| 1 | 横浜市中区 | 287台 |
| 2 | 藤沢市   | 85台  |
| 3 | 横須賀市  | 63台  |

神奈川県警資料より

# 特定小型原動機付自転車の人身交通事故発生件数

令和7年 (9月末)	発生件数 4件	①	②	③	④
		2月26日	5月4日	8月22日	9月18日
		多摩区	横浜市中区	横浜市泉区	横浜市緑区
		男性	男性	男性	男性
		軽傷	軽傷・飲酒	重傷	軽傷

令和6年	発生件数 5件	①	②	③	④	⑤
		2月8日	4月26日	9月25日	10月13日	12月19日
		横浜市西区	横浜市中区	川崎市中原区	横浜市中区	横浜市中区
		女性	女性	男性	男性	女性
		軽傷・飲酒	軽傷	軽傷	軽傷	軽傷

横浜市内での発生が約 8 割を占めている。

神奈川県警資料より

## 特定小型原動機付自転車等の小型モビリティの現状

- 特定小型原動機付自転車の交通事故の発生は少ないものの、今後急速に普及する可能性があることから、交通ルールの周知等交通安全対策が必要である。